

株主の皆様へ

第48期(2024年3月1日~2025年2月28日)の事業の状況

株主の皆様には、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。第48期の概況についてご報告申し上げます。

当期は、売上高につきましては、積極的な新規出店による上積みと、PRO向け商材や家電、及び日用消耗品などの販売好調により、既存店を含め増収となりました。利益項目につきましても、円安に伴う原価上昇などで粗利益率は低下したものの売上高の増加と計画的な経費コントロールにより、各段階利益において計画は未達ながら増益で終わることができました。

実績としましては、コーナングループ連結で、売上高は4,842億93百万円(前年同期比6.1%増、計画比増減なし)、売上総利益は1,794億58百万円(同5.1%増、同1.0%減)、営業利益は250億1百万円(同3.8%増、同3.5%減)、経常利益は233億6百万円(同3.1%増、同2.9%減)、当期純利益は142億10百万円(同1.1%増、同4.0%減)となりました。

新規出店につきましては、ホームセンターコーナンを21店舗、コーナンPROを12店舗、建デポを9店舗、ホームインブルーメントひるせを1店舗、そしてコーナンベトナムを2店舗と、計45店舗をオープンしたため、第48期末時点のグループ店舗数は641店舗となりました。

当社グループは2026年2月期(第49期)から2028年2月期(第51期)までを対象期間とする「第4次中期経営計画」を2025年4月11日付で公表いたしました。この計画期間は、市場環境変化を見極める未来の基盤構築のための準備期間と位置付けており、本計画の最終年度目標として売上高5,600億円、営業利益290億円、当期純利益165億円を掲げております。

「第4次中期経営計画」では、「第3次中期経営計画」から引き続き、スローガンとして『全ての経営活動をお客様視点へ』を掲げ、ビジョンとして『日本を代表する住まいと暮らしの総合企業』を目指します。これを実現するために7つの重点戦略とESG経営、財務経営に取り組みます。

強みであるPRO業態を中心に注力エリア・ドミナント強化エリアに積極出店する「①出店戦略」、お客様に支持されるPB商品開発及びお客様と共創する仕組みづくりとそのための商販宣一体化を推進する「②商品・価格戦略」を成長エンジンとします。また、集客強化を目的として、お客様の更なる利便性を追求したサイト強化やECを起点とした店舗送客を進める「③EC×店舗戦略」、自社アプリ会員数の拡大などを通じてサービス提供を強化する「④ファン化戦略」に取り



代表取締役社長 **足田 直太郎**

組みます。更に、効率化・コスト削減を目的として、物流業務の効率化・省人化及び出店拠点に呼応した物流拠点確保を展望する「⑤物流戦略」、本部・店舗の業務効率化・DX化を推進する「⑥オペレーション戦略」を遂行してまいります。加えて、将来を担う人材の育成と社内環境の整備により従業員全員が成長できる体制を構築する「人財経営」に取り組みます。なお、ESG経営及び財務経営にも注力し、サステナビリティの推進や地域貢献、人材への配慮・教育、ガバナンス強化とともに、財務基盤の安定を前提とした成長投資と株主還元のパランスの取れたキャッシュアロケーションを行ってまいります。これらを通じて、ステークホルダーの皆様への期待にお応えし、持続的な成長と中長期的な企業価値向上に努めてまいります。

株主還元の充実

当社は、株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要課題の一つとして位置付けております。基本方針として、業績の見通し、事業活動への投資、財務健全性などを総合的に判断しながら、長期にわたる安定した配当の実施と、業績ならびに株価水準などに応じた自己株式取得の検討を掲げております。第48期の配当につきましては、中間・期末いずれも1株当たり50円、年間では100円と11期連続の増配となりました。

当社の第4次中期経営計画期間中(2025-2027)の株主還元の目標水準につきましては、総還元性向40%以上、及び累進配当を目指すこととします。第49期の配当につきましては、1株当たり30円の大幅増配を計画しており、年間130円となる予定です。また、2025年4月11日に公表のとおり総額20億円、株式総数65万株(発行済株式総数(自己株式を除く))に対する割合2.18%を上限とした自己株式の取得を計画しております。引き続き、投資計画および財務の健全性維持などを総合的に勘案して利益還元を継続してまいります。

株主の皆様におかれましては、引き続き絶大なるご支援を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。

第4次中期経営計画(2025-2027)

当社グループは、2025年4月に「第4次中期経営計画」を公表しました。当中期経営計画の目指す姿である誰からも愛される存在で「日本を代表する住まいと暮らしの総合企業」を実現すべく、一層の企業価値向上に取り組んでまいります。

《目指す姿》

ミッション	誰からも愛される存在
ビジョン	日本を代表する住まいと暮らしの総合企業
スローガン	全ての経営活動をお客様視点へ

《最終年度目標》

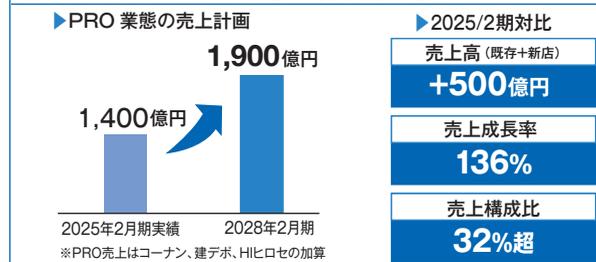
売上高	5,600億円	営業利益	290億円	EBITDA	430億円
当期純利益	165億円	総還元性向	40%以上	配当方針	累進配当

《重点戦略・経営基盤》

当中期目標達成のために、全ての経営活動を『お客様視点』へ転換させ、7つの重点戦略と「ESG経営」「財務経営」に取り組んでまいります。

重点戦略	① 出店戦略	お客様にもっと出会う場所を
	② 商品戦略・価格戦略	お客様に豊かなモノをお得な価格で
	③ EC×店舗戦略	お客様に更なる利便性を
	④ ファン化戦略	お客様に次なる期待と感謝を
	⑤ 物流戦略	お客様に喜ばれる配送を
	⑥ オペレーション戦略(店舗/本社)	お客様のことを常に考える業務を
	⑦ 人財経営	未来を担う人財採用と育成
ESG経営		お客様とともに持続性や社会性へ貢献
財務経営		お客様と人財へ還元できる安定基盤

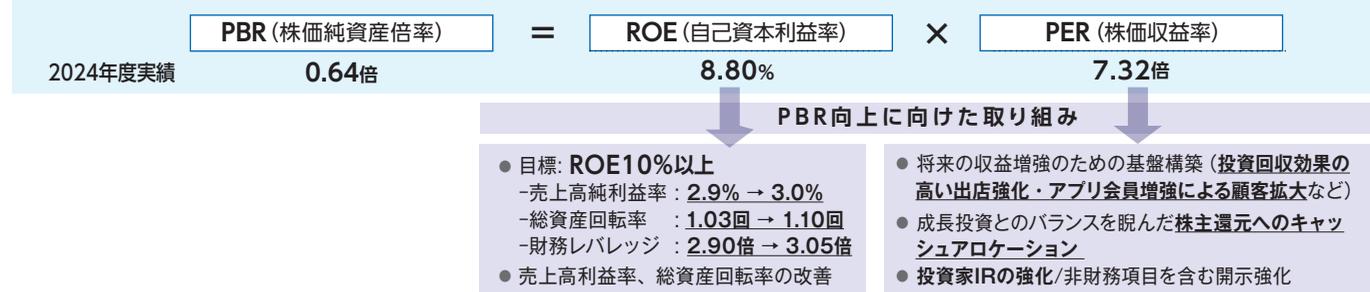
強みであるPRO業態の伸長計画



PB構成比拡大と効率化による収益性の向上



《企業価値向上に向けた取り組み》成長戦略への取組みと資本政策を通じ、ROE10%以上を実現することでPBR1.0倍以上を目指します。



《株主還元方針》基本方針: 株主の皆様に対する利益の還元を経営上の重要施策の一つとして位置づけ、業績の見通し、事業活動への投資、財務健全性などを総合的に判断しながら、長期にわたって安定した配当を実施する

・自己株式の取得についても業績ならびに株価水準等に応じ、適宜検討を行う

目標水準: 第4次中計期間中(2026/2-2028/2) ●総還元性向:40%以上 2026年2月期(予定)配当130円/年、自己株式取得20億円 ●累進配当